

## 四国のみち②「潮風そよぐみち」

【日 時】 2017年12月16日（土曜日）

【天 気】 曇

【メンバー】 CL中野裕司 SL河野 順 加地幹夫 山田正一 高岡都利  
天野民代 大石良子 高山正代 計8名

### 【アクセス】

国道55号線を南下、大林から県道24号線に入り、福井町の小野からは日和佐道路で日和佐町に抜け、再び国道55号線に合流、日和佐トンネル抜け、次の山河内トンネルの手前を左に入ればスタート地点の山河内駅は直ぐ。

徳島市からは約5km 所要時間約1時間20分

### 【コースタイム】

J R山河内駅……2km（30分）……白沢登山口……1.4km（50分）……峠……0.5km（15分）……大島展望地……0.5km（15分）……峠……2.1km（1時間）……水落……6.3km（2時間）……古牟岐休憩所……1.6km（30分）……小張崎休憩所……2.4km（45分）……J R牟岐駅

計 歩行距離 16.8km 約6時間

（例会山行当日は白沢登山口からモラスコ牟岐間の約10kmを実施）

### 【コース概要】

J R山河内駅から白沢集落へ向かい鯉の養殖場手前を谷に入っていく。

沢沿の道を500mほど歩くと四国の道案内標柱があり、そこからコンクリート製の疑木丸太で土止めされた階段状の山道に入っていく。1時間ほどで、お地藏さんが見守る峠に着く。

峠から5分ほどでピークの三角点があり、ビッグウェーブと書かれた標柱が立っているが、この三角点の点名は二等三角点「白沢」（はくさわ）449.53m。

更に勾配のない尾根を10分歩けば大島展望地に着く、展望地と云っても大きな標柱が立っているだけの狭い空地で、わずかに牟岐大島方面の展望があるのみ。

再び峠まで引き返し、南阿波サンラインに向かって下っていく。

サンラインとの合流点には大きな四国の道の看板がある、そこから少し左手に見える県道に進んで水落集落へ入っていく。道は、しばらくは海岸線の上を通り、所々で海や浪打際が望まれる。

やがてモラスコや少年自然の家への看板が立つ交差点に至るので、ここから南に下っていくと古牟岐の漁港に至る。漁港沿いの広い道を進むと脇道があり、その先の高台に東屋が立つ古牟岐休憩所がある。再び広い道に帰り、海際を歩いて岬に進み、お馴染みの丸太の階段を上がっていくと電波塔があり、その先に小張崎の休憩所があるが、残念ながら景色は良くない。

岬を廻る様に下って行き、牟岐浦の漁港脇に出た後から民家の間を歩き県道147号線を目指し、後は県道に沿って歩けば国道55号に交わりJR牟岐駅がその先にある。

### 【リーダーの感想】

車道歩きが長いのが難点だが、大島展望地がらの眺望が素晴らしい。途中、「モラスコむぎ」に立ち寄るのもよいだろう。



① 南阿波サンライン登山口



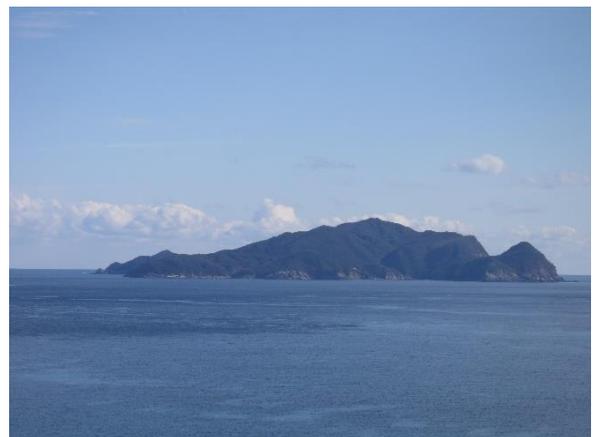
② 大島展望地



③ 古牟岐漁港



④ 小張崎休憩所



⑤ 牟岐大島

